

日本自動車連盟（JAF）では、信号機のない横断歩道で歩行者がいる場合に一時停止しない車が多いという実態を把握すべく、2016年から全国で実態調査を行っています。
この度その最新結果が公表されましたので、お知らせします。

2025年の調査結果では、歩行者が横断歩道を渡ろうとしている場面で一時停止した車の割合は全国で56.7%でした。
前年からは3.7ポイントの向上となりましたが、未だに4割以上のクルマは法令を違反しています（※）。

※道路交通法第38条では「横断歩道等における歩行者等の優先」が規定され、横断歩道を渡ろうとする歩行者がいる場合には一時停止をし、その進行を妨げてはいけないことになっています。

都道府県別にみると、長野県が88.2%で10年連続のトップ、それに次ぐのが78.0%で前年3位からランクアップした岐阜県です。

なお今年は36都道府県で停止率が上昇しました。

上昇率が最も大きかったのは、前年最下位の富山県。前年から29.3ポイントも上昇し、全国平均を超える60.9%に達しました。

最下位は山口県の34.3%で、前年から8.6ポイント低下しました。

本件はドライバーの責務に関する調査ですが、歩行者側も信号機のない横断歩道を渡る時は、ドライバーに横断する意思を示し、決して無理な横断はしないという心掛けが大切です。

都道府県別の状況など当調査結果の発表内容は、以下URLよりご覧になれます。

<https://jaf.or.jp/common/safety-drive/library/survey-report/2025-crosswalk>

日本自動車教育振興財団 メルマガ事務局

【読者の皆さまへ】

私どもは、先生方や高校生の皆さんにより有益なご支援を提供してまいりたいと考えております。

つきましては、当財団の事業やご支援メニューについて、ご意見やご要望等をお寄せください（以下のいずれかの方法にてお願いします）。

1. 当メルマガに返信

2. SNSでのコメント、返信

ツイッター <https://twitter.com/jidousyakyouiku>

フェイスブック <https://www.facebook.com/jaef2019/>